

Ⅱ 三つの方針

制 定	平成22年2月4日	改 正	平成29年4月1日
一部改正	平成24年4月1日	一部改正	平成30年4月1日
一部改正	平成25年4月1日	一部改正	平成31年4月1日
一部改正	平成26年4月1日	一部改正	令和2年4月1日
一部改正	平成27年4月1日	一部改正	令和3年4月1日
一部改正	平成28年4月1日	一部改正	令和6年4月1日

基本方針

鹿児島純心女子短期大学（以下「本学」という。）は、「聖母マリアのように 神さまにも人にも喜ばれる女性の育成」を建学の精神とする高等教育機関です。

本学はキリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育により、豊かな人間性と高い専門的能力を備えた女性を育成し、社会の持続可能な発展と平和に貢献できる人材を輩出することを目的とし、日々教育と研究とに邁進することを使命としています。

この基本方針に基づき次の三つの方針を定めます。

なお、全学及び教育課程ごとの一貫性のある方針を構築するため、三つの方針には「各専攻分野を通じて培う学士力～学士課程共通の学習成果に関する参考指針～」に基づき、「区分1 知識・技術・理解」「区分2 汎用的技能」「区分3 態度・志向性」「区分4 統合的な学習経験と創造的思考力」の4つの区分を設け、さらに高大接続の観点から「学力の三要素」を「区分1」「区分2」「区分3」の3つの区分に取り入れます。

○卒業認定・学位授与の方針

本学における卒業認定・学位授与の方針を定めたものです。

次の要件を満たした者に対して、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位規程の定めるところにより短期大学士の学位を授与します。

（要件）

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるために編成されたカリキュラム(教育課程)に則り、本学が定める期間在学して所定の科目を履修し、予め定めた成績評価基準に基づき単位を修得した者

○教育課程編成・実施の方針

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるための教育課程編成・実施の方針を定めたものです。

○入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるために備えておいてほしい基礎的知識や能力を示したものです。

全学共通

区分1 知識・技術・理解

卒業認定・学位授与の方針

【豊かな人間性と共生の精神】

- ・豊かな人間性と国際人として必要な教養を身に付け、共生の社会を築いていくことができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・建学の精神や教育理念を理解し、人間性と社会性を高める純心教育および初年次教育の科目を配置し、実施する。
- ・国際的・社会的課題の理解を深めるための科目や、自らの関わり方を考える機会を設けて、主体的に向き合う人材を育成する。

入学者受入れの方針

- ・豊かな人間性と高い専門的能力を身に付け、より良い社会を築くことを希望する人。

区分2 汎用的技能

卒業認定・学位授与の方針

【人生を切り開く力】

- ・社会的・職業的活動に必要な力を身に付け、社会や環境の変化に柔軟に対応して自らの人生を切り開くことができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・キャリア教育科目を通して、自立した生活者としての基本的な技能を修得させる。
- ・最新の技術や方法・考え方に触れ、身近な課題に活用する科目を配置し、変化に適応して創造的な解決策を見つけ出す力を高める。

入学者受入れの方針

- ・現代社会において豊かな社会生活・職業生活を送るために、その基本的能力となる基礎的な知識・技能を身に付ける意欲のある人。

生活学科生活学専攻

区分1 知識・技術・理解

卒業認定・学位授与の方針

【ビジネス実践力】

- ・企業・組織の仕組みや振る舞いを理解するための基礎知識を身に付けていて、実務に活用できる。

教育課程編成・実施の方針

- ・ビジネスの基礎知識や現代的課題に関する基本的な知識を体系的に理解し、実務に活用できるような教育課程を編成する。
- ・良識ある女性としての教養を培うため、地域社会や伝統的文化のもつ意味や美しさ、歴史的・社会的背景等を学ぶ科目を配置する。

入学者受入れの方針

- ・最新のテクノロジーや服飾文化、美術・工芸に興味・関心があり、幅広い知識を身に付けたい人。
- ・専門的な知識と実務能力を身に付け、ビジネス社会で活躍することを希望する人。

区分2 汎用的技能

卒業認定・学位授与の方針

【デザイン思考】

- ・ユーザーの視点でデザインした企画やサービスをデータに基づいて評価・改善し、分かりやすく魅力的に提案できる。

教育課程編成・実施の方針

- ・データの基本的な取り扱いを理解し、考えや判断の妥当性を説明できるようになるための科目を配置し、実施する。
- ・言語表現や視覚的表現の技能を実践的に学ぶ科目を配置し、受け手のことを十分に意識して工夫し、表現する能力を高めることを意識して実施する。
- ・キャリア選択の状況に応じて必要な専門的知識やスキルを身に付けることができるよう配慮する。

入学者受入れの方針

- ・基礎的な文章力や読解力を身に付けていて、自分の考えを言葉で伝えることができる人。
- ・互いの考えや個性を理解し、尊重しようとする人。

区分3 態度・志向性

卒業認定・学位授与の方針

【挑戦し探究する姿勢】

- ・自らの発想を実践でき、実践から学びを得て、次の実践に活かすことができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・自身の成長に対して継続的な関心を持ち、学びを深めることができるよう意識して、科目を配置し、実施する。

- ・既存の枠を超えて発想し、大胆に挑戦する姿勢を養うために、制作活動を実施する。
- ・周囲の評価やフィードバックから着想を得て課題を見つけ、工夫改善を続ける力を高められるよう、実践と共有の機会を活用する

入学者受入れの方針

- ・チームのために自分を磨こうとする意志を持つ人。
- ・目標達成に向けてあきらめずに挑戦する人。

区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

卒業認定・学位授与の方針

【プロジェクト実行力】

- ・プロジェクトの成功のために自分の役割を果たし、チームを支援することができる。。

教育課程編成・実施の方針

- ・プロジェクト活動を実践する場を設け、互いの強みや専門性を活かした解決策・アプローチを考え続けて、最後までやりきる力を高めることを意識して実施する。
- ・リーダーシップの多様なあり方に触れて理解を深めるため、地域で活躍するリーダーや課題解決に取り組む企業・団体から直接学ぶ機会を設ける。

生活学科こども学専攻

区分1 知識・技術・理解

卒業認定・学位授与の方針

【保育・教育の基礎理解】

- ・ 保育・教育の基礎となる理論や考え方を理解している。

【子ども理解】

- ・ 保育や教育の対象について、多角的に理解している。

【保育・教育の実践力】

- ・ 保育・教育の実践力を身に付けている。

【保育・教育の職務理解】

- ・ 保育者の職務を多面的に理解している。

教育課程編成・実施の方針

- ・ 保育者モデルとして示される「反省的实践家」を養成するために、螺旋構造の学び（学び、深め、自分のものにするという過程）を支援する教育課程を構成する。
- ・ 次世代を担う子ども達の健やかな育ちを支援できる保育者として、「子どもの最善の利益」を第一に考えることのできる価値観を養う。
- ・ 対人援助の現場である保育の現場で直接活かせる技術力を養う。

入学者受入れの方針

- ・ 基礎的な文章読解力・表現力等、高校卒業程度の学力を身に付けている人。
- ・ 保育の専門知識・技能を発展的に学ぶ意欲を持った人。
- ・ 他者と協調して地域社会に貢献する希望を持った人。

区分2 汎用的技能

卒業認定・学位授与の方針

【企画力・観察力・実行力】

- ・ 実践的な場に立って、子どもをよく観察して、提供すべき手立てを企画し実行する力を身に付けている。

教育課程編成・実施の方針

- ・ コミュニケーション・スキルやマナーを養うために、子どもや保護者と直接関わる機会を積極的に取り入れた教育課程を構成する。
- ・ 子どもや保護者と直接関わる際に発生する問題に対し、適切に対応できる力を養う。

入学者受入れの方針

- ・ 「いのち」を大切にする心を持ち、子どもの成長と発達に関する知識・技術の習得に強い意欲を持つ人。

区分3 態度・志向性

卒業認定・学位授与の方針

【探究心と自己研鑽力】

- ・ 広く社会や時代の変化に目を向けて、子ども理解を深め、保育者の課題をつねに探究し努力する姿勢が身に付いている。

教育課程編成・実施の方針

- ・自己学習力と論理的思考能力を養うために、保育者としての課題を探究し続ける教育課程を構成する。
- ・保育者の責務を自覚し、真摯に学び続けようとする姿勢を涵養する。

入学者受入れの方針

- ・多様な人々と協働して学ぶ姿勢がある人。
- ・実習・演習などに積極的に取り組む意欲のある人。

区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

卒業認定・学位授与の方針

【こどもの未来を創造する力】

- ・保育者として次世代を担う子ども達の健やかな育ちを支援するための思考力と対話力を身に付けている。

教育課程編成・実施の方針

- ・筋道を立てて考える力、根拠に基づき判断する力を習得させる。
- ・多面的なものの見方を養うために、こども学の学びを皆で分かち合う教育課程を構成する。

生活学科食物栄養専攻

区分1 知識・技術・理解

卒業認定・学位授与の方針

【基盤知識】

- ・栄養士の専門性を修得するために必要な科学に関する基礎知識を身に付けている。

【専門知識・技術と理解】

- ・栄養士の専門性に関する幅広い知識と技能を身に付けている。

【栄養士業務の実践力】

- ・栄養士の業務内容と職務を理解して実践することができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・専門教育科目群（社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導、給食の運営、その他）を配置して、栄養士への理解を深め専門知識と技術を修得する。
- ・栄養教諭と教職に関する科目を配置して、栄養教諭に必要な専門知識と技術を修得する。
- ・郷土の食材や料理への理解を深め関連する専門知識と技術を修得する。
- ・学外実習を配置して、社会人としての資質を養成し栄養士への理解を深める。

入学者受入れの方針

- ・食と栄養、健康に関心があり、栄養士の専門性に関する幅広い学習に取り組む意欲を持っている人。

区分2 汎用的技能

卒業認定・学位授与の方針

【情報を収集、整理して伝える力】

- ・栄養士業務に必要な情報を整理してプレゼンテーションする能力が身に付いている。

教育課程編成・実施の方針

- ・実験・実習・演習科目を配置して、実践的な思考力・判断力・表現力を養う。
- ・コンピュータ等を活用した演習を配置して、栄養士業務などの実社会で求められる情報活用能力を高めるとともに、情報モラルの育成を図る。

入学者受入れの方針

- ・国語の基礎力や数学の基礎計算力を身に付けており、さらに専門性を深める意欲のある人。

区分3 態度・志向性

卒業認定・学位授与の方針

【協働する姿勢】

- ・食に関する業務に主体性と責任感をもって協働して取り組む姿勢が身に付いている。

教育課程編成・実施の方針

- ・実習演習科目を配置して、グループワークを通じて協働する姿勢を養う。
- ・多様な専門教育科目を通じて、学びを継続する意義と専門性の深さを理解する。

入学者受入れの方針

- ・協調性を備え主体的に学び続ける姿勢を身に付ける意欲のある人。

区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

卒業認定・学位授与の方針

【食を通じて社会に尽くす力】

- ・社会における食に関する様々な課題を見出し、解決することができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・現代社会の食に関する様々な課題について取り上げ、理解を深めるとともに課題解決に向けた専門性を修得する。

英語科

区分1 知識・技術・理解

卒業認定・学位授与の方針

【実践的英語コミュニケーション能力】

- ・生活や仕事で活用できる実践的な英語コミュニケーション能力が身に付いている。

【言語理解と異文化理解】

- ・世界の多様な文化や言語について幅広く理解するための基礎知識を身に付けており、グローバルに通用する論理展開ができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・実践的な英語コミュニケーション能力を身に付けるために、体験型英語プログラムを提供する。アクティブラーニングによる少人数制参加型授業や習熟度別クラス編成を通して、使える英語を育成するため、英語で行われる科目を配置する。
- ・言語の基礎知識や文化的な背景を学び、基本的なコミュニケーション能力を育成するために、英語の言語的特徴やその指導法に関する科目並びに英語以外の外国語に関する科目を配置する。
- ・郷土や我が国の伝統・文化を伝えるとともに、異文化に対する理解を深め、グローバルな社会で通用する人材を養成するため、日本や世界の地域研究等の科目を配置し、外国人学生との交流や海外研修及び海外留学の機会を設ける。

入学者受入れの方針

- ・言語や文化に興味・関心があり、英語が好きで、さらに英語力を伸ばしたいと思う人。
- ・異文化を理解し、実践的な英語力を身に付け、グローバルな社会で活躍したい人。

区分2 汎用的技能

卒業認定・学位授与の方針

【情報・実務能力】

- ・グローバルな職場環境に対応できる専門的な情報活用能力や実務能力を身に付けている。

教育課程編成・実施の方針

- ・情報モラルの育成を図るとともに、実社会で求められる実践的情報活用能力を高めるため、コンピュータ等を活用した演習科目を配置する。
- ・グローバルな社会に対応できるビジネス、または、教職に係る実務能力を育成するために、実践的な学びの場を提供し、実社会で必要となる知識を学ぶ科目を配置する。

入学者受入れの方針

- ・基礎的な文章力や読解力を身に付けている人。
- ・社会で必要とされる職業的知識と専門的スキルを身に付けることに意欲のある人。

区分3 態度・志向性

卒業認定・学位授与の方針

【協働し学び続ける姿勢】

- ・互いの良さを生かして協働し、探求し続け、自身を向上させることができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・他と協働し、挑戦しようとする姿勢を養うために、様々な英語活動や異文化体験イベントをはじ

め、体験型グループ学習をととして、実践的に学ぶ科目を配置する。

- ・ 実社会が求める人物像を具体的に感じ取り、自らの生き方に生かすとともに、生涯を通じて学びを継続させる意欲や、企画力・表現力・行動力、さらには逞しい気力を磨くために、インターシップやボランティアマインドなどを体験的に学べる科目を配置する。

入学者受入れの方針

- ・ 英語を学ぶ意欲があり、主体的に英語力を高める努力をする人。
- ・ 多様な人々と積極的にコミュニケーションをとり、問題解決に向けてあきらめずに挑戦する人。

区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

卒業認定・学位授与の方針

【国際的センスと社会への貢献】

- ・ 国内外の諸問題の解決に向けて調査研究し、その結果を英語で発信すると共に、地域社会及び国際社会への貢献に生かすことができる。

教育課程編成・実施の方針

- ・ 問題解決力を高めるために、国内外の様々な問題を取り上げ、その解決策を考え議論し発表する科目を配置する。
- ・ 地域社会や国際社会への貢献を図るために、学内外の国際交流イベントに積極的に参画するとともに、統合的な学習経験を積むことができる科目を配置する。